



熟年宣言する縄中さん（宇部72アジススパホテルで）

地域発展へ貢献誓う

阿知須熟年式に27人

還暦を祝う「熟年式」が11日、山口市阿知須の宇部72アジススパホテルで開かれ、同地域の対象者27人が参加し、今後の健康と充実した人生を願う、明るい地域づくりに取り組んでいくことを誓った。阿知須熟年式実行委員会（岡村章委員長）主催。

式には、そろいの赤い「ちゃんちゃん」を着て参

加。岡村委員長が「皆さんは一生懸命生きてこられ、社会に数々の貢献をされた。今、さらに熟年の夢を見つけて一緒に走り、すてきに年を重ねていきましょう」とあいさつ。来賓の末貞収一・阿知須総合支所長が「きょうが人生の折り返し地点。これまで培った経験や知識を地域や県の発展

に生かしてください」「熟年式発起人の飯田宏史さんが「健康で充実した新たな旅立ちの日としましよ」と祝辞を述べた。

熟年者を代表して縄中宏明さんが「熟年パワーを集結して喜びあふれる町、生きがいと思いやりのある地域社会の発展に貢献することを宣言します」と決意を発表した。

阿知須共立病院外科医の工藤明敏さんが「がんと言われて困らないために」と題して講演した。この後、会食をして交流を深めた。

中戸光枝さんは「還暦を迎えたという気がしないが、もっ孫が5人いる。きょう出席して、みんなと一緒にこれからの人生を頑張っていこうと思つた」と述べた。

熟年式は阿知須町時代の1998年から始まり、合併後も地域の恒例行事として根付いている。今回が第19回。（佐野）

来社

▽境勝義さん（桜風流吟剣詩舞道会理事長）17日（宇部市福祉会館）



赤いちゃんちゃんを着て歓談する参加者

「赤」を着て 還暦祝う

阿知須熟年式

還暦を祝う「阿知須熟年式」が11日、山口市阿知須のホテルであった。旧阿知須町時代の1998年から「第二の成人式」として続き、19回目。2015

浴びたのは、約50年前飼育していたオランウーティ製。来場者は写真を近づいて観察したり。現在飼育しているマヤニホンザルなど6種を紹介するパネルも並

年度に60歳となる27人が、健康に気を付けながら家庭、地域での役割や仕事に取り組んでいこうと、気持ちを新たにした。

参加者は赤いちゃんちゃんを着て出席。元阿知須町長で発起人の飯田宏史さん（86）から「夢にチャレンジし続けよう」と激励を受けた後、参加者の一人で阿知須共立病院外科部長の工藤明敏さん（60）の講演を聞き、大腸がんの予防や治療方法を学んだ。

式後は記念撮影をしたり、昼食を食べて歓談したりした。会社員潮崎八重子さん（59）は「趣味の茶道を楽しみつつ、高齢化する地域社会の役に立ちたい」と話した。

PM 2.5 県内予報

阿知須熟年式、27人祝う

「60年の経験生かし地域発展に貢献も」

成人の日の11日、山口市阿知須で恒例の「阿知須熟年式」があり、本年度中に60歳を迎える地域の人たちの還暦を祝った。

60歳という人生の節目を迎えた人のこれまでの社会貢献に感謝し、今後も健康



「熟年式」で還暦の節目を祝う出席者ら＝11日、山口市

で充実した日々を過ごしてもらおうと、同市社会福祉協議会阿知須支部(弘中得男支部長)が主催する「第二の成人式」。19回目の今回は、対象者104人のうち27人(男性15人、女性12人)が赤いちゃんちゃんこ

姿で出席した。

熟年式発起人の元阿知須町長、飯田宏史さん(86)が「仕事はリタイアしても人生にリタイアはない。これからできることを発見し、チャレンジしてほしい」とあいさつ。

熟年者代表の縄中宏明さんが「人生60年の経験と知識を生かし、将来に悔いのない選択を図り、熟年パワーを集結し、喜びあふれるまち、生きがいと思いやりのある地域社会の発展に貢献する」と宣言した。

式の後、地元の阿知須共立病院の工藤明敏医師の講演や会食、カラオケなどの余興を楽しんだ。

中野初子さんは「人生いろいろだったが、皆さんのおかげで還暦を迎えることができてうれしい。これからも明るく元気に過ごしたい」と述べ、しばらく休んでいた趣味のフラダンスを再開したいと笑顔を見せた。